

編集後記

タンパク質は「マイクロマシン」である、といわれます。

体の中で働いているタンパク質は、どのような役割を持っているかによって様々な形をしています。たとえば、加水分解酵素などは「ハサミ」のような形をしていて、アミノ酸などの分解されるべき分子が「ハサミ」の根本にふれると、ハサミはチョキンと閉じてアミノ酸分子を切断するのです。でも、細胞の中で作られたばかりのタンパク質は1本の長い紐のような姿をしているので、そのままでは機能を持つことができません。そこでこの紐のようなタンパク質の形を整える働きをしているタンパク質もあるのです。分子シャペロンという名前を持つ1群のタンパク質で、壺のような形をしています。この中に、まだ機能を持っていない紐状のタンパク質が入ると、円盤状の形をした別のタンパク質が上から蓋をすることが確認されています。そして蓋が取れると「壺」の中から一定の形になった機能を持ったタンパク質が出てくるのです。小さな「マイクロマシン」は一つのタンパク質でできていますが大きな「マイクロマシン」はいくつもの小さなタンパク質が複雑に組み合わされてできています。

ヒトの体には5000種類以上のタンパク質があると考えられています。ナノメートル(m⁹)サイズのマイクロマシンが体の中を駆けめぐって「仕事」をしていると思うと何とも愉快で不思議な感じです。

生活科学科・食物科学科では、紀要に掲載される投稿論文の質の向上をはかるために査読制度を導入しています。査読では一般に、投稿論文の内容の新規性や信頼度のほかに、文章とデータとの整合性などが審査されます。最近の投稿論文の質の向上と並行して査読のレベルも上がってきているようです。質の高い研究論文を掲載するため、今後ともご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

本紀要を発行するに当たっては、ご投稿頂いた先生、審査をお引き受け頂いた先生あるいは校正でお骨折り下さった近代文化研究所編集室等多方面の方々にご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

編集委員 食物科学科 蔵楽 正邦
生活科学科 海老沢秀道

☆掲載論文の無断転載を禁じます。

学苑 八百六号	発行所 昭和女子大学
定価 八四〇円(本体八〇〇円)	〒154-8533 近代文化研究所
購読料 一カ年分 一〇〇八〇円	東京都世田谷区太子堂一ノ七
(本体 九六〇〇円)	電話 03(三四二)五三〇〇
平成十九年十一月二十日 印刷	
平成十九年十二月一日 発行	
編集発行人 竹田 喜美子	
印刷所 三秀舎	